



## 2019 年度 卒業生アンケート 結果報告

### 郡山女子大学編（抜粋版）

#### 目次

1. 調査の概要.....	1
2. 回答状況について.....	2
3. 卒業後の就職状況について.....	2
4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの.....	2
5. 大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか.....	2
6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの.....	3
7. 卒業生から在校生へのメッセージ.....	3

#### 1. 調査の概要

##### ・調査目的

卒業後3年が経過した卒業生へアンケートを送付し、定着状況や当時の就職支援について回答してもらい、今後の就職指導および学習指導の参考とする。

##### ・調査対象

郡山女子大学の平成28年度卒業生

##### ・アンケート期間

令和元年7月26日～令和元年9月20日

##### ・送付数

大学82名（内訳：人間生活学科16名、食物栄養学科66名）

※7名が未達返却

##### ・回収率

15名（20.0%） ※未達分を除いて回収率を算出

内訳：人間生活学科1名、食物栄養学科14名



## 2. 回答状況について

平成28年度就職決定者（2017年3月卒業）は82人おり、全員を対象として発送したが、返送があった人数は、15名となっている。

回答率は発送人数に対して20.0%（前年度10.9%）である。

## 3. 卒業後の就職状況について

回答があった15名に関して、卒業後就職した勤務先で働いているかと尋ねた。7割の学生が正社員として継続勤務を行っており、概ね就職サポートは良好であるといえる。

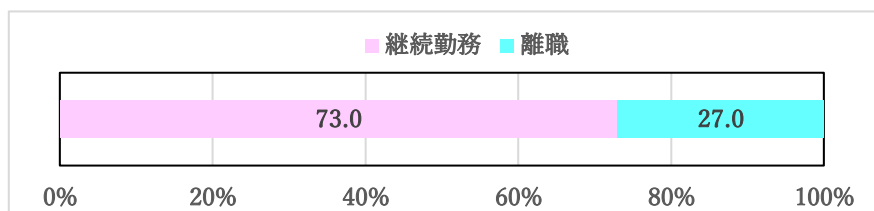


図1. 勤務状況

## 4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの

就職活動後に自分に不足していたものを12項目で評価してもらった。結果は、「問題解決力・分析力」、「ストレスコントロール力」、「特にない」、「その他」それぞれ25%というものだった。問題解決能力・分析力などは、授業でも行っているが、現場において習ったとおりの問題が起き対応できるということは稀であるため、応用力が課題と思われる。インターンシップや学外実習を通じた経験による応用力を培うこともできるが、すべてを経験できるわけではない。

学生の記述式回答にも課題を裏付けるような回答がある。

学生回答：大学で学んだ専門知識が頭の中にあるだけで、実際の社会や日常生活でどのように活かせばいいのかわからない、アプローチ方法に悩む。実生活にどのように関係しているかわからない、学んでおけば良かった。

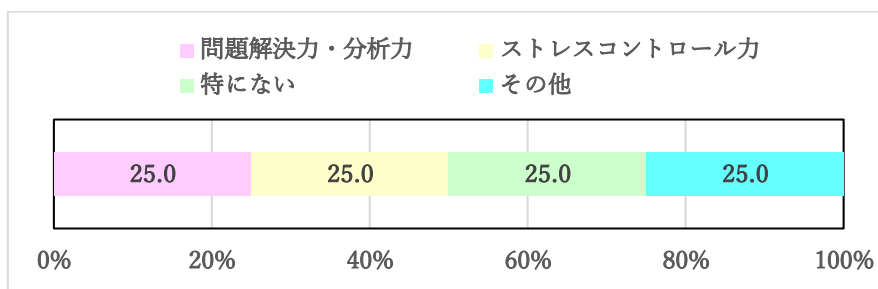


図2. 就職活動を終えて自分に不足していた能力

## 5. 大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか

専門分野を活かした就職ができているかを確認するため、「大いに関連がある」、「やや関連が



ある」、「あまり関連がない」、「全く関連がない」の4択で評価してもらった。結果は、「関連がある」、「やや関連がある」あわせて80%の学生が専門分野を生かした就職をしているという結果だった。

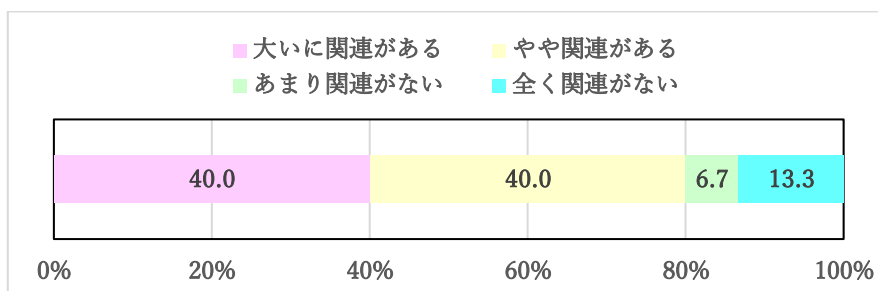


図3. 専門分野と仕事との関連

## 6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの

「専門知識」、「分析力に考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「時間を有効に使う力」、「他の人と効率よく仕事をする力」、「意図を明確に伝える力」、「パソコン技術」、「新たなアイデアや解決策を見つけ出す姿勢」、「その他」に分けて確認した。「他の人と効率よく仕事をする力」と「意図を明確に伝える力」を身につけておくべきだったと回答している学生が4割強と多い。職場で同僚と一つの目標に向けて仕事する機会が多いが、大学での学びにおいては課題を行う場合、個人での対応が多いことを物語っている結果となった。成績は個人評価となるのは当然だが、チームで成し遂げて評価を受ける機会を増やす必要がある。

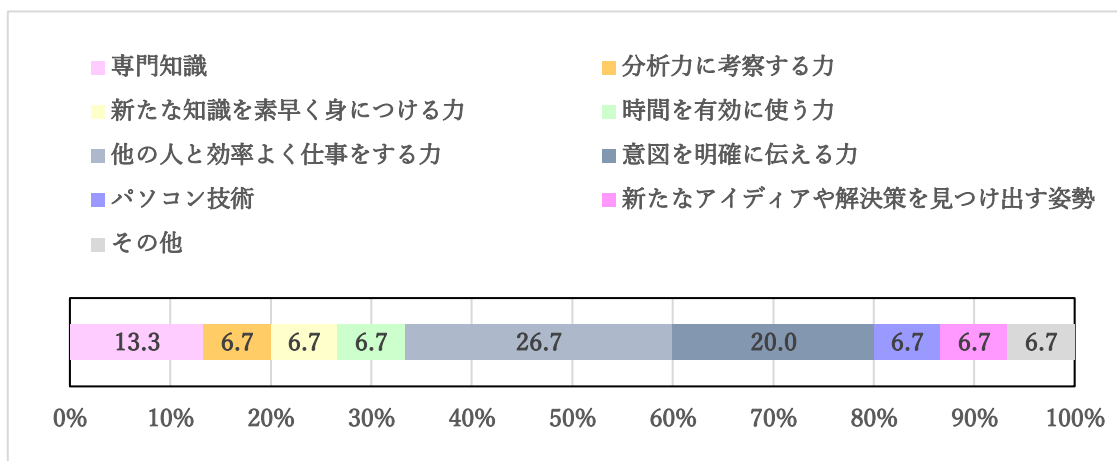


図5. 身につけておくべき力

## 7. 卒業生から在校生へのメッセージ

最後に卒業生より、在校生へのメッセージをいただいた。

大学・短大生活を自ら楽しんで、興味を持ったことは積極的に参加してください。外で経験したことが、社会に出て役立ちます！



郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部

社会に出てから学ぶことも、大変なことも多いと思いますが、大学で学んだことと合わせて、素敵な女性となるように頑張ってください。

自分がやりたい仕事に就けるように精一杯頑張ってください。

夢に向かって頑張ってください。